

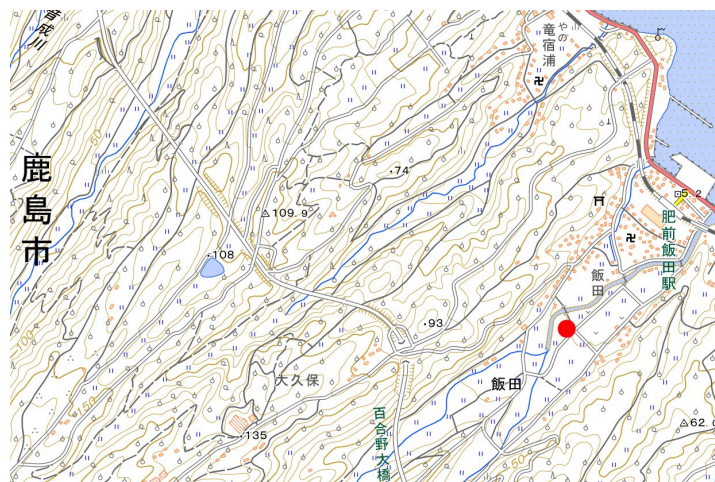
番号	86	本浦旱害 揚水記念碑		
所在地		鹿島市飯田		
災害別		昭和４２年（１９６７） 旱害		
目的別		記念碑	建立年	昭和４２年１１月
特記事項				



昭和42年は異常気象の年であったと言って良い。7月には、昭和42年7月豪雨と呼ばれる大雨が降り、県西部を中心に大きな被害をもたらした一方で、8月中旬から10月中旬まで記録的な日照りとなり、農林関係に大きな被害が生じた。この施設は飯田川右岸に建てられており、昭和42年の旱害対策として揚水ポンプを設置したことを記念して建てられている。

（正面）「この施設は、昭和四十二年八月以降の大旱害により収穫皆無の被害を蒙ったため、市当局並びに関係者各位のご尽力による旱害補助事業として施行したものである 茲に落成を記念しその概要を記録する 昭和四十二年十一月吉日 本浦耕地整理組合 委員氏名（略）」

（側面）「事業の概要 事業主体 鹿島市 施行者 福岡市高田興業株式会社 総事業費 五百三十万円 施設の内容 揚水能力四〇馬力 一日一〇〇〇トン 送水管延長一、二七二メートル 工事期間 自昭和四十二年九月十日 至昭和四十二年九月二十八日 関係面積六・四ヘクタール 関係者五十一名」



国土地理院電子国土 Web